

# 大震災・復興ニュース(第79報)

平成24年10月18日  
 仙台地方振興事務所水産漁港部

## 1 水産業復旧・復興に向けた対応状況(国及び県全体の動き)

宮城県内の水産物の放射性物質測定結果について

- 測定年月日 平成24年10月9日～10月16日
- 測定分析機関 宮城県, (公財)海洋生物環境研究所, (独)水産総合研究センター中央水産研究所, (株)総合水研究所, (財)日本冷凍食品検査協会, いであ(株), (財)日本分析センター, (財)日本食品分析センター, (一財)九州環境管理協会

### 3 測定及び対応結果

宮城県沖のスズキから基準値を超える放射性セシウムが検出されました。このため、県から10月16日付けで金華山以北の出荷自粛を要請しました。なお、金華山以南については、4月12日付けで国による出荷制限指示済みになっています。

水産物(漁獲日 平成24年10月7日～10月15日) (単位:ベクレル/kg)

種別	漁獲場所	放射性セシウム	種別	漁獲場所	放射性セシウム
マダラ	宮城県沖	2.4	ババガレイ	宮城県沖	1.5
ヒラメ	金華山～江ノ島沖	7.8	スルメイカ	三陸南部沖	不検出
シロサケ	三陸南部沖	不検出	カンパチ	金華山沖	不検出
マダラ	宮城県沖	9.3	ブリ	三陸南部沖	不検出
エゾイソアイナメ	宮城県沖	不検出	シロサケ	女川湾沖	不検出
ケムシカジカ	宮城県沖	8.5	ホウボウ	女川湾沖	6.4
シロサケ	岩沼市沖	不検出	ババガレイ	女川湾沖	不検出
ヒラメ	亶理吉田浜沖	5.0	チダイ	女川湾沖	不検出
シロサケ	阿武隈川(亶理町)	不検出	ブリ	女川湾沖	不検出
シロサケ(卵巣)	阿武隈川(亶理町)	不検出	シロサケ	三陸南部沖	不検出
スズキ	宮城県沖	<b>11.0</b>	マガレイ	宮城県沖	3.9
スズキ	鮫浦湾(谷川)沖	2.6	チダイ	宮城県沖	6.2
ウルメイワシ	三陸南部沖	不検出	ヒラメ	花淵浜沖	1.6
マルソウダ	三陸南部沖	0.76	スズキ	花淵浜沖	4.2
シロサケ	三陸南部沖	不検出	スズキ	東松島市浜市沖	2.5
スルメイカ	三陸南部沖	不検出	ヒラメ	金華山沖	6.3
ゴマサバ	三陸南部沖	0.56	シロサケ	三陸南部沖	不検出
メダイ	宮城県沖	不検出	ヒガンフグ	松島湾	不検出
ケムシカジカ	宮城県沖	不検出	スズキ	仙台湾	4.4
ヒラメ	女川湾沖	9.7	スズキ	仙台湾	2.7
イトヒキダラ	宮城県沖	不検出	スズキ	仙台湾	4.5
メダイ	宮城県沖	0.57	サンマ	北海道青森県沖太平洋	不検出
ヤマギダコ	宮城県沖	不検出	メバチ	日本太平洋沖合北部	不検出
ニシン	宮城県沖	1.9	ピンナガ	日本太平洋沖合北部	0.48
キチジ	宮城県沖	0.65	サンマ	北海道青森県沖太平洋	不検出
アカガレイ	宮城県沖	3.6	サンマ	北海道青森県沖太平洋	不検出
サメガレイ	宮城県沖	不検出	放射性物質値は漁獲日における値を示す。		

## 2 管内の復興に向けた動き

<水産漁港部からのお知らせ>

塩釜市魚市場の水揚状況

塩釜市魚市場の9月の水揚は、数量で3,308トン、金額で1,662,013千円となり、前年同月比数量で

塩釜市魚市場水揚状況 (ト,千円)

月	平成24年		平成23年		対比	
	数量	金額	数量	金額	数量	金額
1	1,225	552,653	1,405	653,198	87%	85%
2	760	428,901	915	439,655	83%	98%
3	1,281	728,329	246	153,638	521%	474%
4	2,219	1,183,072	221	168,510	1004%	702%
5	3,492	1,817,708	2,172	842,007	161%	216%
6	2,498	1,207,308	2,158	753,917	116%	160%
7	2,289	1,209,274	2,723	893,859	84%	135%
8	2,949	1,722,488	2,754	1,500,362	107%	115%
9	3,308	1,662,013	1,930	963,116	171%	173%
累計	20,021	10,511,746	14,524	6,368,262	138%	165%

1,378 トンの増、金額で 698,897 千円の増となりました。

主な漁業種類はまぐろ延縄、かつお・まぐろ旋網であり、そのうちかつお・まぐろ旋網 3 1 隻のキハダマグロ水揚げ、また今月も陸送遠洋のクサカリツボダイが好調でした。

なお、9月末現在までの累計で100億円を突破しました。この半分はクサカリツボダイによるものです。

### ヒラメの放流

10月16日(火)、宮城県が青森県栽培漁業振興協会から購入した放流用のヒラメ稚魚4万5千尾が到着し、七ヶ浜町花淵浜に放流されました。

稚魚は船に積まれたFRPタンクに3回に分けて移し替えられて港外で放流され、漁業者の見守る中、元気に仙台湾に泳ぎ出していました。



船からの放流の様子

### <トピックス>

#### カキの出荷が始まりました

10月15日(月)、カキの出荷が始まりました。

今年は夏場の高水温により成長が遅れ、例年より半月遅れての初出荷となりました。

県漁協塩釜総合支所で行われた初入札会では、浦戸支所のカキ110kgが出品、平均37,020円/10kgとまずまずの価格で取引されました。

現在は水温も下がってきており、今後のさらなる身入りが期待されます。



入札前の県漁協塩釜総合支所長挨拶

#### 「塩釜魚市場どっと祭り in 仲卸市場」開催

10月14日(日)、「塩釜魚市場どっと祭り in 仲卸市場」が開催されました。

これまでメイン会場であった塩釜市魚市場が施設工事のため、今年は塩釜水産物仲卸市場をメインにしての開催となりました。

恒例の「三陸塩竈ひがしもの」鉄火丼の廉価販売は例年同様長蛇の列となった他、カニ汁等の無償提供、模擬セリや鉄火巻き体験等盛りだくさんのイベントもあり、会場は水産物を買求める大勢の観光客で賑わいました。



鉄火巻き体験